

大好き！絵本

初瀬 恵美



『オレ、カエルやめるや』
文：デヴ・ペティ
絵：マイク・ボルト
訳：こばやし けんたろう
出版社：福音館書店

今年は遅い梅雨入りでしたが、雨を待ち望むかのようにカエルの鳴き声が聞こえるようになりました。園庭でも子どもたちがアマガエルを発見するなど、カエルの時期になってきましたね。そこで、今月は、カエルを主人公にしたユーモラスな絵本『オレ、カエルやめるや』を紹介したいと思います。

ある日カエルの坊やが猫の絵本をよみながらお父さんに「あのさ、おとうさん。オレ、ネコになることにするや。」と言います。お父さんは「え？おまえはネコにはなれないよ。」というので、坊やは「なんで？」と質問します。するとお父さんは「そりゃ おまえが カエルだからだよ。」と一言。しかし、それにもめげず「うーん。オレ、カエルやなんだよね。なんかぬれてるしさ。」と坊や(笑)。お父さんは「だからといって、カエルはネコにはなれないんだよ。」とつぶやきます。カエルをやめたい理由は、ヌルヌルしてる、ムシばかり食べてるなど、もっともらしい、とても面白い理由。カエルをやめたいそんな坊やの願いは、かなうのでしょうか、それとも、、、この絵本は、アップテンポの会話と、愛嬌がある生き物たちのイラストが印象的な絵本です。

年長さんの男の子が、この絵本を読んだ日に、絵本にでてくるフクロウの絵を描いていました。とても力強く、迫力がある絵でした。その子は、「最初はここまでだったけど、足をあとからかいたの」と教えてくれました。確かに、足は別の紙に描かれて、貼り付けてありました。そしてお迎えに来たお父さんに誇らしげに見せて、お家に持って帰りました。後日、ラミネーターした絵をまた保育園に持ってきてくれました。

心に強く残った絵を、自分で描き、それをお家でも大切にされているのって、素敵だなと思いました。

親子で楽しむことができる一冊です。ぜひご覧になられてみてください。



6月 誕生日おめでとう